

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	発展世界史B(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	5単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(文系)
使用教科書	詳説 世界史 改訂版(山川出版社)				
副教材等	ニュービジュアル 新詳 世界史図説(浜島書店)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解
- ②文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を
- ③国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第8章 近代ヨーロッパ	第1学期中間考査	10月	第15章 冷戦と第三世界の独立	第2学期中間考査
	第9章 近代ヨーロッパ			第16章 現在の世界	
5月	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世		11月	主題学習・問題演習	第2学期期末考査
6月	第11章 欧米における近代国民国家の発	第1学期期末考査	12月		
	第12章 アジア諸地域の動揺				
7月	第13章 帝国主義とアジアの民族運動		1月		
8月			2月		
9月	第14章 二つの世界大戦		3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- | | | |
|------------|---|------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | … | 世界の歴史と人間にかかわる事柄に対する関心・意欲・態度を |
| 思考・判断・表現 | … | 歴史の過程や結果を適切に思考・判断・表現する |
| 資料活用 of 技能 | … | 有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける |
| 知識・理解 | … | 世界の歴史の基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に |

このため、評価は、具体的には次のものを行う

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用 of 技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

また、1年間の評定は、1. 2学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	発展世界史B(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	5単位	学年・コース	高校3年 進学(文系)・アスリート
使用教科書	詳説 世界史 改訂版(山川出版社)				
副教材等	ニュービジュアル 新詳 世界史図説(浜島書店)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解
- ②文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を
- ③国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第8章 近代ヨーロッパ	第1学期中間考査	10月	第15章 冷戦と第三世界の独立	第2学期中間考査
	第9章 近代ヨーロッパ				
5月	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世		11月	第16章 現在の世界	第2学期期末考査
6月	第11章 欧米における近代国民国家の発	第1学期期末考査	12月	主題学習・問題演習	
	第12章 アジア諸地域の動揺				
7月	第13章 帝国主義とアジアの民族運動		1月		
8月			2月		
9月	第14章 二つの世界大戦		3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- | | | |
|------------|---|------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | … | 世界の歴史と人間にかかわる事柄に対する関心・意欲・態度を |
| 思考・判断・表現 | … | 歴史の過程や結果を適切に思考・判断・表現する |
| 資料活用 of 技能 | … | 有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける |
| 知識・理解 | … | 世界の歴史の基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に |

このため、評価は、具体的には次のものを対

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用 of 技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

また、1年間の評定は、1. 2学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	発展日本史B(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	5単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(文系)
使用教科書	詳説 日本史 改訂版(山川出版社)				
副教材等	詳説 日本史図録 第10版(山川出版社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
- ②我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培う。
- ③国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第7章 幕藩体制の展開	第1学期中間考査	10月	第12章 高度成長の時代	第2学期中間考査
5月	第8章 幕藩体制の動揺		11月	第13章 激動する世界と日本 主題学習・問題演習	
6月	第9章 近代国家の成		12月		第2学期期末考査
7月	第10章 二つの世界大戦とアジア	第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第11章 占領下の日本		3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- 関心・意欲・態度 … 日本の歴史と人間にかかわる事柄に対する関心・意欲・態度を
- 思考・判断・表現 … 歴史の過程や結果を適切に思考・判断・表現する
- 資料活用 of 技能 … 有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける
- 知識・理解 … 日本の歴史の基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に

このため、評価は、具体的には次のものを行う。

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用 of 技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

また、1年間の評定は、1. 2学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	発展日本史B(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	5単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(文系)・アスリート
使用教科書	詳説 日本史 改訂版(山川出版社)				
副教材等	詳説 日本史図録 第7版(山川出版社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
- ②我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培う。
- ③国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第7章 幕藩体制の展開		10月	第12章 高度成長の時代	第2学期中間考査
5月	第8章 幕藩体制の動揺	第1学期中間考査	11月	第13章 激動する世界と日本	
6月	第9章 近代国家の成		12月	主題学習・問題演習	第2学期期末考査
7月	第10章 二つの世界大戦とアジア	第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第11章 占領下の日本		3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- | | | |
|----------|---|------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | … | 日本の歴史と人間にかかわる事柄に対する関心・意欲・態度を |
| 思考・判断・表現 | … | 歴史の過程や結果を適切に思考・判断・表現する |
| 資料活用 | … | 有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける |
| 知識・理解 | … | 日本の歴史の基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に |

このため、評価は、具体的には次のものを対

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用の技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

また、1年間の評定は、1. 2学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	発展地理A(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(理系)
使用教科書	高等学校 新地理A(帝国書院)・新詳高等地図(帝国書院)				
副教材等	最新 地理図表GEO(第一学習社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①地理的現象のしくみを学び、世界の自然現象・地域社会を理解する。
- ②グラフ・図表等を使い地理的現象を読み取る。
- ③学んだ知識を使い応用力を身につける。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	世界の人口問題		10月	世界の工業	
5月			11月	主題問題・問題演習	
6月	世界の気候のしくみ		12月		第2学期期末考査
7月		第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	世界の農業		3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

関心・意欲・態度・・・授業内容に対し関心を持って受けられたか。授業中に的確な発表ができたか。
 考 判 断・・・地図・グラフ・表・写真等資料を読み取れたか。地理的現象を理解できたか。
 術 表 現・・・資料を読み取りポイントを説明できたか。学んだ知識を活用できたか。
 識 理 解・・・地理に興味を持ち知識を取り入れられたか。学習した内容を理解し活用できたか。
 このため、評価は、具体的には次のものを対象に
 地理的現象の基本を学び、様々な事例に対しての応用力があるか授業中の発言や定期考査で評価する
 大学入試共通テストを想定して授業展開をする。出題ポイントの解説をもとに解答を評価する。

また、1年間の評定は、1. 2学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	倫 理				
教 科	公民科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(文系)
使用教科書	改訂版 現代の倫理 (山川出版社)				
副教材等	改訂版 現代の倫理ノート (山川出版社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める
- ②人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促す
- ③良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第Ⅰ部 青年期と自己の課題		10月	第Ⅲ部 現代社会と倫理	
5月	第Ⅱ部 人間としてのあり方・生き方		11月	主題学習・問題演習	
6月			12月		第2学期期末考
7月	第Ⅲ部 現代社会と倫理	第1学期期末考	1月		
8月			2月		
9月			3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- | | | |
|------------|---|------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | … | 倫理と人間にかかわる事柄に対する関心・意欲・態度を高める |
| 思考・判断・表現 | … | 倫理的思考の過程や結果を適切に思考・判断・表現する |
| 資料活用 of 技能 | … | 有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける |
| 知識・理解 | … | 倫理の基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身につける |

このため、評価は、具体的には次のものを対

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用 of 技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

また、1年間の評定は、1. 2. 学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	倫 理				
教 科	公民科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(文系)・進学(文系)・アスリート
使用教科書	改訂版 現代の倫理 (山川出版社)				
副教材等	改訂版 現代の倫理ノート (山川出版社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める
- ②人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促す
- ③良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第Ⅰ部 青年期と自己の課題		10月	第Ⅲ部 現代社会と倫理	
5月			11月		
6月	第Ⅱ部 人間としてのあり方・生き方		12月		第2学期期末考査
7月		第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月			3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- | | | |
|------------|---|------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | … | 倫理と人間にかかわる事柄に対する関心・意欲・態度を高める |
| 思考・判断・表現 | … | 倫理的思考の過程や結果を適切に思考・判断・表現する |
| 資料活用 of 技能 | … | 有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける |
| 知識・理解 | … | 倫理の基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身につける |

このため、評価は、具体的には次のものを対

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用 of 技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

また、1年間の評定は、1. 2. 学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します